

コメント

1.インフルエンザ

定点当り20.0人と減少しており、2週続けて減少しています。ピークの第5週(定点当り51.1人)と比べると少なくなりましたが、依然として大きな流行が続いており、引き続き注意が必要です。

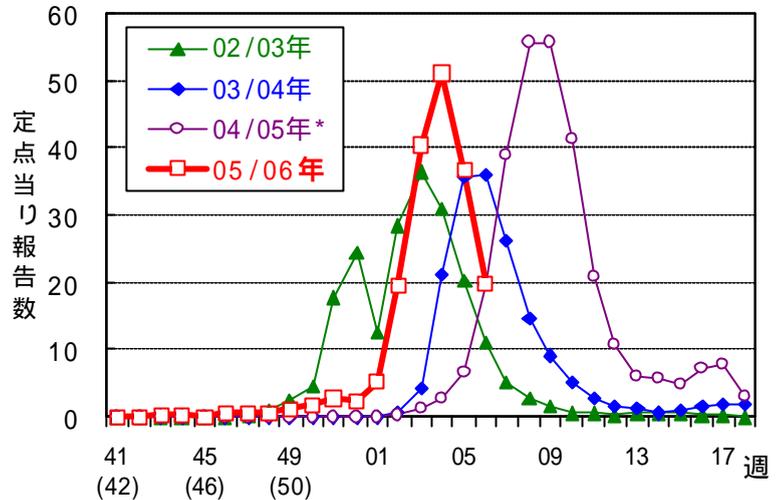
2.感染性胃腸炎

定点当り12.3人とやや減少しています。安佐北区22.0人、安芸区21.5人と特に多く、中区14.3人、東区14.0人、南区10.3人となっています。

3.水痘

定点当り2.21人とやや減少しています。安芸区では8.0人と特に多くなっています。

インフルエンザ



*のシーズンは、第53週までであるため、グラフでは()の週に対応している。

5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年(注1)	発生記号
インフルエンザ(注2)	739	19.97	18.70	↘	麻疹(注3)	-	-	0.03	
咽頭結膜熱	1	0.04	0.17		流行性耳下腺炎	45	1.88	0.83	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37	1.54	1.23	↘	RSウイルス感染症	2	0.08		
感染性胃腸炎	294	12.25	13.70	↘	急性出血性結膜炎	-	-	-	
水痘	53	2.21	2.05	↘	流行性角結膜炎	3	0.38	0.95	
手足口病	-	-	0.20		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	5	0.21	0.28		無菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
突発性発疹	12	0.50	0.94		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.26	
百日咳	-	-	0.02		クラミジア肺炎(注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.01		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	-	-	0.04						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1.1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少ないなど、傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注1)過去5年間の同時期平均(定点当り)
 (注2)高病原性鳥インフルエンザを除く
 (注3)成人麻疹を除く
 (注4)オウム病を除く

1類~5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
5	梅毒	1	1	男性(30歳代)

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

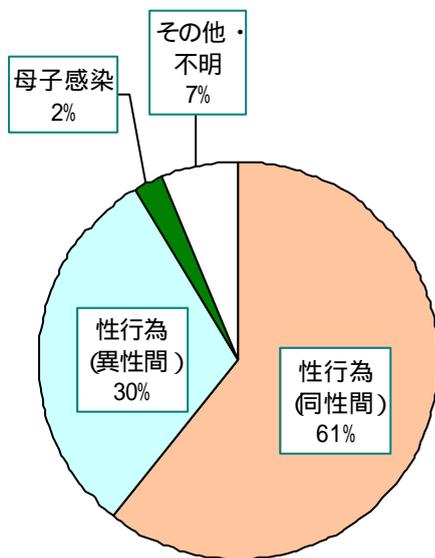
報告数	広島市	第2週	インフルエ ンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発し ん	百日咳	風しん	ヘルパンギ ーナ	麻しん (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻しん	
																								第3週
報告数	広島市	第2週	735	2	18	321	70	1	3	22	1	-	1	-	65	13	1	4	-	-	1	-	-	
		第3週	1,496	2	22	390	52	1	6	21	-	-	-	-	50	7	-	11	-	-	2	-	-	
		第4週	1,890	4	45	336	80	3	9	18	2	-	-	-	57	3	-	10	-	-	-	-	-	
		第5週	1,355	2	44	364	64	2	5	12	-	-	-	-	57	4	-	9	-	-	1	-	-	
		第6週	739	1	37	294	53	-	5	12	-	-	-	-	45	2	-	3	-	1	2	-	-	
		第2週	19.86	0.08	0.75	13.38	2.92	0.04	0.13	0.92	0.04	-	0.04	-	2.71	0.54	0.13	0.50	-	-	0.14	-	-	
定点 当り	広島市	第3週	40.43	0.08	0.92	16.25	2.17	0.04	0.25	0.88	-	-	-	2.08	0.29	-	1.38	-	-	0.29	-	-		
		第4週	51.08	0.17	1.88	14.00	3.33	0.13	0.38	0.75	0.08	-	-	-	2.38	0.13	-	1.25	-	-	-	-		
		第5週	36.62	0.08	1.83	15.17	2.67	0.08	0.21	0.50	-	-	-	-	2.38	0.17	-	1.13	-	-	0.14	-	-	
		第6週	19.97	0.04	1.54	12.25	2.21	-	0.21	0.50	-	-	-	-	1.88	0.08	-	0.38	-	0.14	0.29	-	-	
		全国	第4週	32.37	0.22	1.73	8.56	1.92	0.09	0.32	0.57	-	-	0.03	-	1.05	-	0.02	0.80	0.01	0.03	0.19	0.02	-
			第5週	30.09	0.24	2.04	8.58	1.74	0.08	0.24	0.51	-	-	0.03	-	1.24	-	0.02	0.76	0.01	0.02	0.27	0.01	-

(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻しんを除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

新たな検査結果はありません。

【参考】広島市における後天性免疫不全症候群の感染経路別報告数 (2000年～2005年)



年	性行為 (同性間)	性行為 (異性間)	母子感染	その他 不明	計
2000	2	1	0	1	4
2001	0	2	1	0	3
2002	1	1	0	0	2
2003	2	3	0	0	5
2004	14	5	0	1	20
2005	9	2	0	1	12
計	28	14	1	3	46

後天性免疫不全症候群の2000年～2005年に報告された46件の感染経路別内訳は、性行為によるものが全体の91%とほとんどを占めており、同性間が61%、異性間が30%となっています。

2004年以降は特に同性間の性行為による感染の報告数が多くなっています。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp